

端縫ダイニング 蕎麦のカフェテリア
蕎麦を選んで、おかずも選べる。



端縫ダイニング 蕎麦のカフェテリア
蕎麦を選んで、おかずも選べる。



道の駅 & 直売所の新しいカタチ
物販・飲食の融合スタイル
【Eat & Buy】

持続性社会実現/地域力創造アドバイザー 中澤あかね(山形県産市)

EAT & BUYとは

- (Eat & Buy) 物販+飲食を合体した店舗ユニット
- 鮮魚売場に刺身 & 寿司カウンター
- 鮮魚売場にセレクト丼コーナー
- 塩干売場に七輪コーナー
- 野菜売場にスープ & サラダバー
- 果物売場にジュースバー
- グロッサリー売場にランチカウンター
- 酒類売場にショットバー
- ベーカリーにカフェコーナー
- 店舗中央に広いイートインスペース

“買う”と“食べる”を一緒に。

EAT & BUYとは



【参考】Occate(東急DP/二子玉川)



【参考】Occate(東急DP/二子玉川)



【参考】EATARY(東京駅グランスタ)



2) 類似事例

類似事例 道の駅むなかた（福岡県宗像市）

Same scale No.1/10

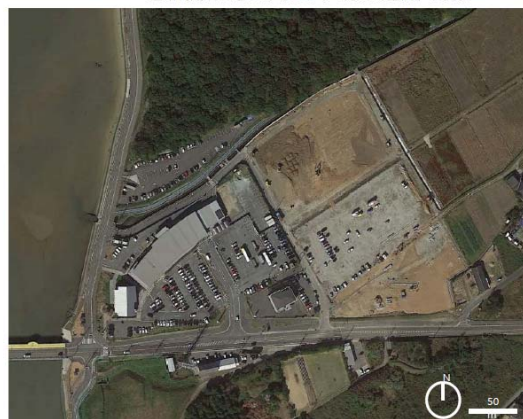


港 × 道の駅

場所：福岡県宗像市

面積：約1600m2(延床)

次の5つの事項を目的として設置されている。
 ・物産直売所における農水産物や加工品等の販売
 ・季節の旬の食材を使用した催しや地域の団体と連携したイベントの開催
 ・館内レストラン「おふくろ食堂はまゆう」にて宗像地域の特長を活かしたメニューの提供
 ・観光情報コーナーにて地域の観光やグルメ、宿泊情報等を提供
 ・道路利用者の憩いの場として「癒しの空間」を提供



類似事例 うみてらす豊前（福岡県豊前市）

Same scale No.2/10

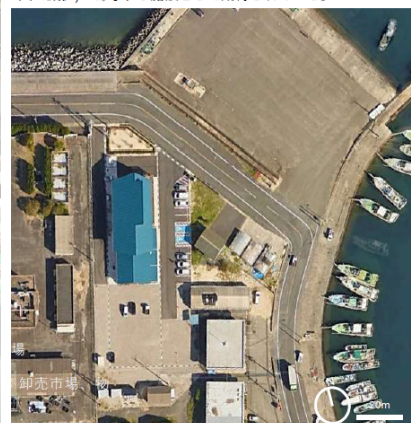


港 × 道の駅

場所：福岡県豊前市

面積：約550m2(延床)

特産品のブランド化や6次産業化にも積極的に取り組む豊前市の、地域間交流の拠点。
 同種の施設との相互販売交流（海産物の活用・売れない魚の加工による付加価値付け）と、
 生産意欲の向上・後継者育成及び新規就労者への雇用拡大を目的として設置されている。
 またイベント、観光PRにて観光客の誘致、販売拡大に繋げ、地域創生(地域の課題の解消・人口減少)に寄与する施設として期待されている。

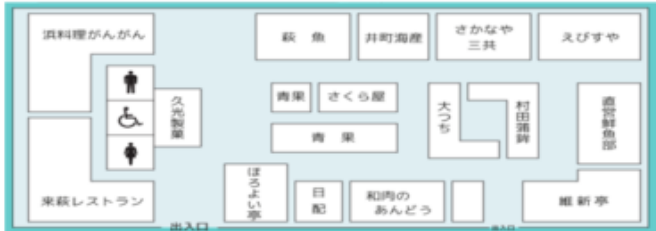


類似事例 萩しーまーと（山口県萩市）



場所：山口県萩市

面積：延床約1,600㎡



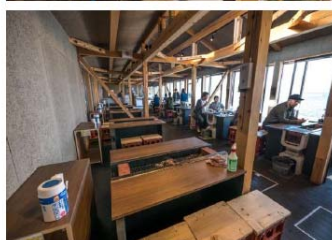
類似事例 道の駅センザキッチン（山口県長門市）



場所：山口県長門市

面積：敷地約21000㎡、延床約2600㎡

仙崎の「リビング・ダイニング・キッチン」をコンセプトに、日本海の海の幸や近隣の農家からの農産物を直売するエリアや飲食店、買ったものをすぐにバーベキューに出来る「海小屋」エリア、長門地域の木材を利用した木育交流施設「長門おもちゃ美術館」などが併設される。



類似事例 道の駅・みなとオアシス 八幡浜みなと（愛媛県八幡浜市）

Same scale No.4/10



市場 (63mx20.5m)

芝生広場 (4400m²)

交流館 (33.5mx17m)

マルシェ (63mx18m)

港 × 道の駅

場所：愛媛県八幡浜市

面積：約3600m²

海産物直売所、食堂、みなと交流館(観光案内所・多目的ホール・会議室)、緑地公園、アゴラマルシェ(産直・物産販売・飲食施設)などからなり、「道の駅」「みなとオアシス」に登録。オープンした年に四国の港で初めて「ポートオブサイヤー」に選定された。オープン以降は3年連続で来訪者数100万人を突破している。



<施設内容>
・観光案内所
・市場
・直売所
・フェリー乗り場

○隣接エリア：卸売市場、物流

類似事例 道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢「FARM CIRCUS」(兵庫県神戸市)

<http://fruit-flowerpark.jp/farm-circus/>

これまでのディスカウント思考の道の駅とは異なり、直売所は地元の若手生産者が取り組むオーガニック食材など付加価値高材を起点に販売。神戸の食文化を軸とした加工品や精肉カウンター、生酒の量り売りなどを実施。フードコートでは地元の食材を使用したベーカリーやカフェメニュー、農家の定食が楽しめるだけでなく、農園体験や料理教室などの食育プログラムを中心とした参加型コンテンツも計画。



場所：兵庫県神戸市

面積：延床約600m²



ファームサーカス・マーケット

毎日の食卓をもっとおいしく1神戸で買った食材が集まる直売所

ファームサーカス・カフェ

地元のフルーツを楽しむフルーツ・ジェラートとソーダ

ケルン・ファームベーカリー

地元ベーカリーケルンが焼き上げる自家パン

ファームサーカス・食堂

郷土料理や家庭の味を楽しめる自家ごはん

ファームサーカス・インフォ

食育イベントも開催する食文化の発信基地

ダイズキッチン

地産地消にこだわった野菜ピザが自慢のイタリアン

ヤード

見て、遊んで、食べる、みんなが楽しむ食育ガーデン

(6) 検討経過

分科会の検討経緯を次に示します。

検討内容やターゲット、コンセプトを統一させる必要性があることから、第 2 回分科会より、飲食機能・直売機能の両分科会は合同で開催しています。

分科会の検討経緯

回 数	日 付	検討内容
第 1 回	平成 30 年 8 月 7 日	・これまでの経緯及びデスクリサーチ結果の整理 ・事業者ヒアリング結果の整理 ・ターゲット、コンセプトの考え方整理
第 2 回	平成 30 年 8 月 28 日	・先進事例研究（中澤さかな氏講演） ・ターゲット、コンセプトの検討
第 3 回	平成 30 年 9 月 10 日	・芦屋港集客、消費額見込、施設規模の検討 ・運営主体、複合機能の検討 ・集客手法、工夫の検討
第 4 回	平成 30 年 10 月 24 日	・飲食、直売機能のあり方について検討 ・施設、付帯施設について検討 ・集客方法について検討 ・整備主体と運営主体について検討 ・事業費、ランニングコストの試算について整理 ・整備スケジュール、今後の検討課題について整理

(7) 分科会委員名簿

【委員】5名

氏 名	所 属
浦野 恭平（会長）	北九州市立大学 経済学部 教授
河村 拓磨（副会長）	遠賀漁業協同組合
武谷 晋平	芦屋町商工会 経営指導員
船越 清玄	事業社（FRANCEYA）
須河内 美紀	事業者（株）ゼロプラス

【外部アドバイザー】

氏 名	所 属
中澤 さかな	総務省地域力創造アドバイザー 道の駅萩しーまーと前駅長

【オブザーバー】

所 属
福岡県北九州市土整備事務所 河川砂防課 砂防港湾係

【事務局】

所 属
芦屋町・芦屋港活性化推進室（事業推進係）
芦屋町・産業観光課（農林水産係、商工観光係）

【業務支援】

所 属
（株）J T B 北九州支店
（株）J T B 総合研究所
（株）F F G ビジネスコンサルティング